

「道新ホール」でのシンポジウムと採録の発信

日本ナットウキナーゼ協会「血栓症予防啓発シンポジウム」

日本ナットウキナーゼ協会では夏の血栓症啓発時期である5月～7月にかけて、全国各都市で血栓症予防啓発シンポジウムを展開しています。2018年度は神奈川県（川崎市）と北海道（札幌市）で開催され、『人生のリスク「血栓」に打ち勝つ健康習慣』と題し、北海道新聞社と共催で、6月25日に「道新ホール」（札幌市）にて実施しました。

東京医科大学教授による基調講演と中井美穂さんによる血栓症体験者へのインタビュー、長野五輪金メダリストの清水宏保氏を交えたパネルディスカッション、また先着250名を対象に血管年齢測定も行いました。

新聞紙面にて募集告知を2回掲載しただけにも関わらず約1,300名の応募があり読者の「血栓症」への関心の高さを実感しました。

イベント当日も多くの参加者で会場は埋めつくされ、血栓症への予防法や、パネルディスカッションでは清水氏が長野五輪の金メダルを披露するなど、参加者をはじめ広告主も登壇者も非常に満足していただけたかと思えます。

医療・健康に関するテーマは読者の関心が非常に高く、読者層にもマッチしております。医療系セミナーを検討されている企業・団体様がいらっしゃいましたら、ぜひ、北海道新聞社へお声がけいただけますと幸いです。

(大阪支社営業部 坂上仁規)

新聞紙面スクリーンショット。記事タイトル「脳梗塞・心筋梗塞に打ち勝つ！ ナットウキナーゼで健康習慣」など。写真やグラフ、インタビュー記事が掲載されている。

POINT!

(2018年7月19日 朝刊 全道版 全15段)

* 読者の関心も高い「医療系セミナー」の実施から採録発信まで、北海道新聞社がサポートいたします。

◆お問い合わせ／北海道新聞社営業局（TEL011-210-5713）または 各支社営業部へ（2018.8）

* ウェブサイトにバックナンバー掲載中！【道新 営業局】で検索！（https://adv.hokkaido-np.co.jp/）